

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2008/08/04 駐在員：宮村 佐衣子

【日系アメリカ人の集い】

アメリカ合衆国に、日系アメリカ人の市民グループはたくさんありますが、最も歴史が古く、最も規模が大きいと言われているのが JACL (Japanese American Citizens League) です。

この組織は、日系アメリカ人の市民権を守るとともに、文化、教育等の価値向上をはかり、その文化遺産等を受け継いでいくことを目的に、1929年に設立されました。全米に113の支部があり、多くはカリフォルニア州、ワシントン州、ハワイなど西海岸にあります。本部はサンフランシスコにあります。

8月3日(日)、デトロイト支部が主催する「ピクニック」に参加してきました。

このピクニックは、毎年、夏に開催される恒例のイベントで、デトロイト周辺に住む日系アメリカ人の交流の場となっています。在デトロイト総領事館の篠塚総領事も参加されていました。



参加者の多くは、2世と3世で、中には4世の子供たちもいました。2世の方は日本語も流ちょうに話す方がほとんどですが、3世、4世の世代になると、日本語は分からない方が多いです。

昼食は、それぞれが、食べ物を持ち寄るポットラック (potluck) 形式だったので、煮物などを持っていきました。

「日系」アメリカ人の集いで、煮物はあるふれているかなと思っていましたが、フライドチキンや、ブラウニーなど、ほとんどが洋食で、煮ものやウマキは3世、4世の方には逆に珍しかったようです。



今回の参加者の方からは、2世の方がつい先日も亡くなられたというお話を聞き、今、アメリカでは3世、4世、そして5世へと広がっていることが感じられました。